

## 北西太平洋地域における海洋生物多様性及び富栄養化に関する専門家会合の結果について

平成23年8月5日(金)  
NPEC

### 1. 概要

「北西太平洋地域における海洋生物多様性及び富栄養化に関する専門家会合」が、8月4日(木)～5日(金)に富山市内で開催されました。

今般の会合は、国連環境計画 (UNEP) の北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) の活動拠点の一つである CEARAC (NPEC が指定されている) における、海洋生物多様性及び富栄養化の活動の今後当面の方向性、特に 2012～2013 年の活動の具体的内容を検討するために開催したものです。会合では、海洋生物多様性及び富栄養化のそれぞれの活動の内容について、専門的な見地から様々な提案がなされ、これらの提案を基に活動の候補が決定されました。

### 2. 日程及び開催場所

8月4日(木)～5日(金) タワー111 2階 会議室

### 3. 出席者

- ・海洋生物多様性及び富栄養化に関する日中韓露の専門家
  - ・HELCOM (ヘルシンキ委員会：バルト海の海洋環境保全に取り組む国際機関)、NOAA (アメリカ海洋大気圏局) 及び PICES (北太平洋海洋科学機構) の海洋環境保全の専門家
  - ・NOWPAP 調整官 等 計約30名
- [進行役：松田治 (海洋生物多様性)、石坂丞二 (富栄養化)]

### 4. 主な結果

#### ①海洋生物多様性に関する今後の取組みについて

日中韓露における海洋生物多様性の保全、海洋保護区の設定等に関する取組み状況が報告され、これを基に将来の活動が検討されました。検討の結果、

- ・北西太平洋地域において生態学的及び生物学的に重要な海域を設定する際の基準の詳細を定めること
- ・北西太平洋地域の海洋生物多様性の共通の指標を設定するための枠組み (体制) を構築すること
- ・北西太平洋地域の各国において設定されている海洋保護区の効果を評価すること

の3種の活動が候補とされ、今後、CEARAC フォーカルポイント会合\*にて更に絞り込みを行うこととされました。

#### ②富栄養化に関する今後の取組みについて

富栄養化に関しては 2009 年に CEARAC が、NOWPAP の対象海域 (日本海及び黄海) において状況評価を行うための手法を、富山湾での経験を基に作成しています。この手法を

用いて日中韓露の各国が行った試行的な状況評価の結果が報告され、これを基に将来の活動が検討されました。検討の結果、手法の改善を行った上で再評価を行うことが適当であるとされました。

NPEC では、今般の会合での議論を踏まえて CEARAC の 2012～2013 年の具体的な活動計画案を作成し、9 月に開催する CEARAC フォーカルポイント会合\*に提案する予定です。

\*：CEARAC フォーカルポイント会合：CEARAC の活動を方針を公式に議論するための調整・助言会合